

オリエンタル系ユリの球根肥大状況について(9月29日現在)

平成28年10月7日
 経営普及課
 (農業革新支援担当)

新潟県農業総合研究所園芸研究センター、中山間地農業技術センター、高冷地農業技術センターにおけるオリエンタル系ユリ球根定期観測結果から、今年の球根肥大及びノーズ形成状況についてのデータを紹介します。

1 供試球根

- (1) 調査品種：カサブランカ (2015年オランダ産TYS球根)
- (2) 球根サイズと前年との比較

| 供試年度 | 球根サイズ | 球根重 (g) | 球周 (cm) | りん片 (枚数) | 葉数 (枚) |
|------|-------|---------|---------|----------|--------|
| 2016 | 14/16 | 47.3 | 16.2 | 25.7 | 35.8 |
| 2015 | 14/16 | 41.8 | 15.2 | 24.3 | 35.2 |

※3センターとも同一ロットの球根を供試し、園芸研究センターで調査した。

2 耕種概要

| 観測場所 (所在地) | | 園芸研究センター (聖籠町) | 中山間地農技センター (長岡市川口) | 高冷地農技センター (津南町) |
|---|----------|----------------|--------------------|--------------------------------------|
| 栽植距離 | | 20×20cm 4条植 | 20×20cm 4条植 | 20×20cm 5条植 |
| 定植日 (前年度定植日) | | 4月1日 (4月8日) | 4月19日 (5月25日) | 4月27日 (5月2日) |
| 施肥 N-P ₂ O ₅ -K ₂ O (kg/10a) | 基肥 | 15-15-15 (4/1) | 14-12-13 (4/10) | 19-15-19 (4/26) |
| | 追肥 (実施日) | 5- 5- 4 (6/2) | 無施用 | 3-4.2-3.6 (6/30) 3-4.2-3.6 (7/20) |

3 生育状況

- (1) 開花盛期は、園芸研究センターで7月11日(前年7月17日)、中山間地農業技術センターで7月22日(前年7月31日)、高冷地農業技術センターでは7月31日(前年8月3日)と、いずれのセンターとも前年より早まった。
- (2) 各センターとも定植後は天候に恵まれて順調な生育を示し、茎長は前年を上回っている。
- (3) 園芸研究センターと中山間地農業技術センターでは、葉の黄化が徐々に進んでいる。
- (4) 各センターとも球根肥大は前年より良好で、球根重・球周は前年の収穫時を上回るか又は近い数値となっている。
- (5) 高冷地農業技術センターと園芸研究センターでは、新球内のノーズの立ち上がりが始まっており、葉分化も順調に進んでいる。

4 具体的データ

添付ファイル「L20160929data」及び図1～図9を参照。

※ 次回の生育情報は、10月13日調査のユリの球根肥大及びノーズ形成状況(第5報)をお知らせする予定です。



図1 園芸研究センターにおける生育状況（左：養成ほ場、右：調査株）

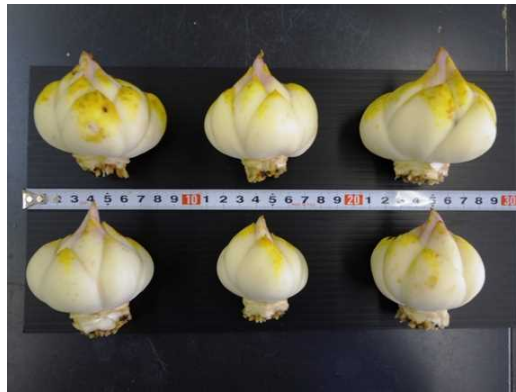
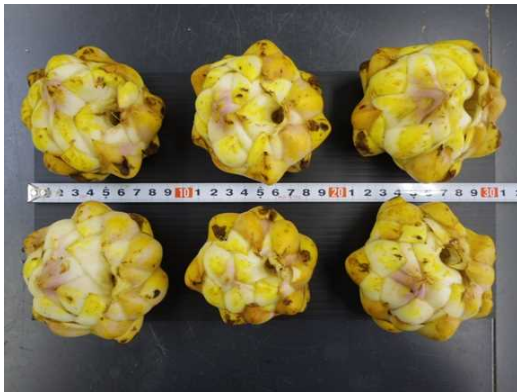


図2 園芸研究センターにおける球根肥大状況（左：球根全体、右：新球）



図3 園芸研究センターにおけるノーズの伸長状況



図4 中山間地農業技術センターにおける生育状況（調査株）



図5 中山間地農業技術センターにおける球根肥大状況（左：球根全体、右：新球）



図6 中山間地農業技術センターにおけるノーズの伸長状況（立ち上がりは未確認）



図7 高冷地農業技術センターにおける生育状況（左：養成ほ場、右：調査株）



図8 高冷地農業技術センターにおける球根肥大状況（左：球根全体、右：新球）



図9 高冷地農業技術センターにおけるノーズの伸長状況